

## 2014 年度第2回運営委員会・交流会報告



日 時;2014 年9月 15 日(月・祝日)14:20~16:00

場 所;西部地域福祉センター

参加者;25 名

第2回運営委員会の第2部で、「(超)高齢化社会におけるボランティア活動」をテーマに交流会を行いました。

事前に配布したアンケートの集計結果※の紹介の後、4グループから会の運営や会員増などへの活動の紹介をいただきました。

その後、日ごろの活動での気づき、ボランティア活動上での問題点、年齢とともに活動への関わり方がどう変化してきているのか、代表や役員をどのように世代交代したのか などなど について意見交換を行いました。

※別添えの「(超)高齢化社会におけるボランティア活動」についてのアンケート結果をご覧ください。

皆さんの意見のまとめです。

- 入会のきっかけづくり、会が継続する工夫
  - ・仲間への声掛け
  - ・口コミ
  - ・広報紙(市)
  - ・体験から誘う
  - ・講座を開催して参加者を誘う
  - ・まつりの手伝いやお茶会など、ハードルの低いところから仲間づくり
  - ・ミニコミなどで活動紹介、遠ざかっている人にも情報提供
- 会の運営について
  - ・会長や役員が敬遠されがち。みんなに一役、責任感が育ち、参加が楽しくなる。つながりを持つ。グループ化による運営。複数の代表制
- 広報について
  - ・若い人とつながるアイデア、土日・長期休暇中の活動、小学1年生が参加すると若いお父さんも来る
  - ・定年退職者などボランティア予備群に自分たちの活動を知らせる

